

# 第3章

## 1. そのとき、どうする？ -地震編①- ケース2

副読本  
18～19ページ

年 組 番 氏名

### ▶ ケース2

想定場面

日時 20XX年1月XX日 (X) 午後4時30分

場所 仙台市 市街地

人数 あなた1人



あなたが通っている学校は市街地の端にあります。市街地は、大型スーパーマーケットや商店、オフィス、家などが建ち並び、JRと地下鉄の駅もあります。登下校時には、自転車を使って市街地を通っています。

その日の帰りは、バドミントン部の練習を終え、自転車で自宅に向かっていました。自宅に帰った後は、市内の一般の方との練習会に参加するため、バドミントンの用具を背負っていました。夕方の薄暗い時間帯で、まだ、外は寒く、少し自転車をこいただけでも冷たい風で手がかじかみ、顔が痛くなりました。

ちょうど会社などの退勤時間と重なり、車の流れは悪く、駅に向かって歩いている人も多い時間帯でした。

- ① あなたが市街地の中心部にさしかかった頃、「地震だ!!」と突然、歩道を歩いていた人の声が聞こえました。
- ② 大地をほうような「ゴゴゴゴ」という地鳴りがして、「ドーン」と激しく下から突き上げられ、ほぼ同時に大きな横揺れがあなたを襲いました。
- ③ 激しい揺れは、20秒間ほど続きました。

**1** 想定場面の①～②では、あなたは命を守るためにどのような行動をとりますか。また、そうするのはどうしてですか。

①	行動
	理由
②	行動
	理由

**2** 想定場面の③では、あなたはその後の危険を回避するために、どのような行動をとりますか。また、そうするのはどうしてですか。

③	行動
	理由

**3** 以下のような状況について考えてみましょう。

街の様子
避難する人の様子
5分後のあなた
30分後のあなた